研究テーマ：多数の双方向ビデオストリームを同時に利用した遠隔仮想サロン（1/2）

（プロジェクト番号 JGN2-A16007）

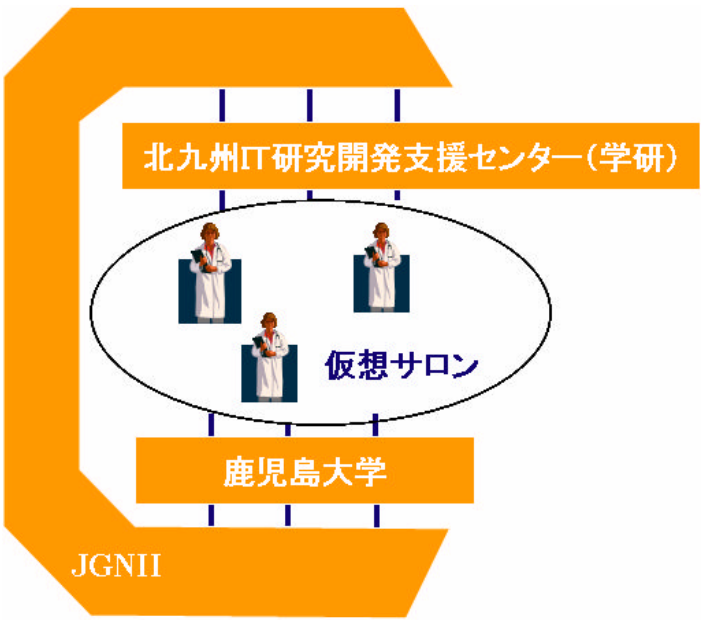
研究機関：鹿児島大学学術情報基盤センター、
（財）九州ヒューマンメディア創造センター

研究の概要：

- 複数の、ビデオカメラ、コーディック、プロジェクタで遠隔地同士を結合した、仮想現実的なサロンを作成する。
- このサロンで 24 時間、遠隔地を仮想的に接続し、ここで交流会やパーティーを開催しながら、インフォーマルなコミュニケーションの場としてどのくらい有効か評価を行う。
- 仮想サロンを実現する上で、複数のビデオストリームの同期の必要性や、同期を取る手法について、研究を行う。

研究の目的：

遠隔地にある地点を複数の双方向ビデオストリームで接続することによって、臨場感を持った仮想現実的な、インフォーマルなサロンの実現性を研究する。



- **24時間連続接続により、**
  なにか面白いことが起きないか？
- **安価な双方向ビデオストリームを**
  多数並列利用することにより、
  高品質な仮想環境が実現できるか？

実験機器構成：

研究テーマ：多数の双方向ビデオストリームを同時に利用した遠隔仮想サロン（2/2）

（プロジェクト番号 JGN2-A16007）

研究機関：鹿児島大学学術情報基盤センター、
（財）九州ヒューマンメディア創造センター

研究開発成果：

- 鹿児島-北九州間で24時間連続して、複数のビデオストリームを相互に配信することができた.。
- 複数のビデオ画像を並べて、大画面を構成することができた。
- 九州・国際テクノフェアICT2006などの様々なイベントに参加した。
- 北九州に開設された、高性能プロセッサ Cell の応用技術開発拠点 CoCを鹿児島から利用する実験を行うことができた

プロジェクトのアピールポイント

- 安価な機器を多数組み合わせた、対価格性能比の高い遠隔画像通信システムを実現できた。
- 24時間接続実験を1年以上実施した。
- 新しい研究への橋渡しができた

プロジェクトの自己評価

- 関連した論文を発表することができた
- このプロジェクトをきっかけにして、JGNIIを使った他のプロジェクトを開始したり、イベントに参加することができた。
- 今後、計画していてまだ実現していない以下を行いたい
  - ✧交流会やパーティーの開催
  - ✧ビデオストリームの同期に関する研究